

（分担）研究報告書

ポケットマニュアルにおける感染関連情報の位置づけおよび感染管理部門の関与に関する調査

研究分担者 高橋 聡 札幌医科大学附属病院 教授

研究要旨

特定機能病院のポケットマニュアルの目次を対象に、感染症に関する情報の掲載状況を分析した。その結果、感染関連の項目については、多くの特定機能病院において、施設内に重大な影響を及ぼすと考えられる感染関連項目が、網羅されていることが明らかとなった。今後は、ポケットマニュアルへの記載について、どのような事項について、どのような内容を記載する必要があるのか、施設全体のマニュアル整備状況について、とりわけ感染症マニュアルの内容、アクセス手段はもちろん、ポケットマニュアルの趣旨・目的を踏まえ、検討する必要がある。

A. 研究目的

特定機能病院等におけるポケットマニュアル活用の実態を把握し、その構成と内容について感染症関連項目である感染症対応・感染対策に関して整理し、検討を行い、最終的に特定機能病院等において安全性を高めるためにポケットマニュアルに記載すべき事項等について、提示することを目的とする。

B. 研究方法

特定機能病院から提出されたポケットマニュアルについて目次を対象にカテゴリー分類し、①感染症関連項目が含まれる医療機関の数、扱われている内容を検討した。また、②感染症関連項目を大項目、中項目、小項目に細分化してその内容を検討した。さらに、③ヒヤリングやアンケート内容などから、ポケットマニュアル運用に関する感染制御部門の関与について検討した。

C. 研究結果

調査対象は、①②はポケットマニュアルを提出した45施設、③は提出されたポケットマニュアル45施設分のうち、協力可能と回答し、かつ日程的な調整がなし得た8医療機関、および研究班の班員である研究分担者の6所属医療機関の計14医療機関の安全管理担当者等であり、彼らを対象にヒヤリングした調査における状況である。

- ① 感染関連の項目（感染管理指針、感染症発生時対応等）があったのは、37施設（82.2%）であった。
- ② 感染関連項目について別表の通り細分化した（別表）。細分化のプロセスは、各施設の目次を基に表現一覧を作成（小項目作成）し、各施設の目次に該当する表現にフラグを立て、小項目を意味別に分類し、最後にそれぞれ含まれているかを集計した。

それぞれの項目が記載されているポケットマ

ニュアルの数は、大項目の「院内感染への対応」は37施設全てで記載がされており、その中項目の「院内感染への対応：基本ルール」（27施設）、「院内感染への対応：発生時」（25施設）、「院内感染への対応：予防策・防止策」（20施設）が特に多かった。次いで、大項目の「抗菌薬・消毒薬」が15施設において記載されていた。その他では、「感染性廃棄物の処理方法」（8施設）、「アンチバイオグラム」（7施設）、「医療機器・器具の取り扱い」（7施設）、「感染症の職員に関する規定」（7施設）、「細菌・微生物検査」（7施設）、「感染症別設定」（7施設）、「手指衛生」（6施設）などであった。手指衛生に関する項目が取り上げられているが、ヒヤリングにより、「こうした情報は、ポケットマニュアルの趣旨を緊急時対応と考えた場合、そぐうかどうかわからない」という意見もあった。

- ③ ポケットマニュアルの改訂作業等の運用に対する感染管理部門の関与については、上述のように感染管理の項目が多く施設のポケットマニュアルに含まれているにもかかわらず、その改訂作業や取りまとめの主体は、安全管理部門か総務部門であり、感染管理部門が主として関わっている施設はなく、同部門はあくまで担当部分の改訂作業に関わるにとどまっていた。ヒヤリングにより感染関連のリファレンスについて以下の特徴的な意見を得た。
 - ・一部の施設では、感染症に関して別の簡易なシート・チェックリストのような状態でリファレンスを携帯させている（B医療機関）
 - ・ポケットマニュアルに関して、「安全と感染は二本柱」との認識はあるものの、取りまとめは医療安全部門である（C医療機関）
 - ・感染と安全を含むものでも内容を厳選すれば薄いものは作成可能である（E医療機関）

別表1 感染関連項目の分類

大項目	中項目	小項目	該当数		
感染症一覧		問題となる感染症と感染経路	1		
		感染性胃腸炎	1		
		注意すべき感染症	1		
		届出の対象となる1-5類感染症	1		
		クロストリジoides・ディフィシル	1		
予防接種・ワクチン		手術前後でのワクチン接種	1		
		各ウイルス交代確認検査結果と予防接種歴	1		
		予防接種状況	1		
アウトブレイク時の対応		アウトブレイク発生時の対応及び緊急時連絡体制について	2		
		アウトブレイクフェーズ	1		
アンチバイオグラム			7		
医療機器・器具の取り扱い		医療器具関連感染予防	2		
		人工呼吸器関連感染管理	1		
		血管内留置カテーテル関連感染管理	1		
		日常的なカテーテル管理	1		
		尿道留置カテーテル管理	1		
		防護具使用基準	3		
		処置時に必要なPPE	1		
		防護具ステッカーと感染経路別予防策対策一覧	1		
		リネンの洗濯提出方法	1		
		院内感染への対応	院内感染への対応：基本ルール	標準予防策	12
				感染予防(目的含む)	8
				Qセンター-感染管理室に報告を要する状況	1
診断確定前から感染経路別予防策が必要な症状	1				
院内感染対策のための指針	14				
針刺し・損傷防止のチェックポイント	1				
隔離予防策	1				
院内感染防止対策	4				
病原体別感染対策	3				
感染症および病原体別予防策のタイプと実施期間	1				
院内感染への対応：予防策・防止策	感染経路予防策		11		
	空気感染予防策		2		
	飛沫感染予防策		2		
	接触感染対策		1		
	針刺し・皮膚・粘膜曝露を起さないために		1		
	針刺し・切断・汚染対策		3		
	針刺し・切断・粘膜曝露の予防策		4		
	感染制御		1		
	職業感染防止		3		
	院内感染を疑う場合		1		
院内感染への対応：発生時	感染症発生時の対応		5		
	感染症発生時・注意を要する病原体検出時の対応		1		
	感染症発生時の提出書類・入力書類		1		
	深刻な感染症事例発生時の対応		1		
	特に注意を要する感染症への対応		2		
	診察医師の針刺し・切断・体液曝露時の対応		2		
	針刺し・切断、血液・体液曝露対応 支診の流れ		1		
	針刺し・切断、皮膚・粘膜汚染発生時の対応方法		21		
	針刺し事故：梅毒・HTLV-1の対応		1		
	針刺し事故：被災者、患者の対応		1		
院内感染への対応：事例	高病原性鳥インフルエンザ疑いの患者が発生したら		1		
	院内伝播しやすい感染症の対応		1		
	社物の処理		1		
	院内感染事例		1		
	感染症診療Tips		1		
	感染症診療に関するマニュアル	1			
	食中毒	1			
	院内感染発生時の報告経路	9			
	組織図	1			
	困った時の問い合わせ先	1			
院内感染への対応：その他	感染制御部への連絡	1			
	針刺し・曝露事故報告体制	1			
	感染症情報の共有	1			
	感染症患者の発生届出	1			
	感染症関連自己記録	1			
	緊急報告が必要な疾患	1			
	針刺し・切断、体液曝露者の動き	1			
	針刺し・切断、粘膜曝露などの感染症の職業的曝露	1			
	難治感染症症例のコンサルテーション	1			
	感染症法について		2		
	感染症法に基づく届け出	1			
	感染症法届出の流れ	1			
感染症の職員に関する規定	感染症法の対象疾患	1			
	感染症罹患時の就業制限等について	4			
	就業制限が必要な感染症職員への対応	1			
	職員の自宅療養が望ましい感染症とその期間	1			
感染性廃棄物の処理方法	職員の就業制限が必要な感染症一覧	1			
	感染性廃棄物の処理について	8			
抗菌薬・消毒薬	抗菌薬・消毒薬：製品リスト	個別包装消毒薬一覧	1		
		消毒薬開封時使用期限一覧	2		
		生体に使用する消毒薬	1		
		届出が必要な抗菌薬	3		
		院内採用消毒薬	1		
		TDMが必要な抗菌薬について	2		
		環境表面に使用する消毒薬	1		
		抗菌薬適正使用について	6		
		抗菌薬の使用日数	1		
		静注抗菌薬投与量の目安	1		
		消毒薬の開封後の使用期限	1		
		消毒薬の希釈早見表、環境整備における微生物別消毒薬の選択	1		
		主な消毒薬の殺菌スペクトル	1		
		速乾式手指消毒薬による消毒	1		
		細菌・微生物検査	感染症検査	1	
			細菌検査結果と感染対策	1	
			微生物検査	1	
			微生物培養検査	1	
夜間休日に行える感染症検査	1				
血液培養採取方法	2				
衛生環境研究所に検査を依頼する場合	1				

D. 考察

感染関連情報を掲載している施設のポケットマニュアルには、感染管理指針が含まれている。安全管理指針と同様、緊急時に参照するようなものではないが、平時に確認したい場合に職員にとって有用である可能性はある。

感染症関連では、院内感染への対応が主な記載内容であった。特定機能病院においては、院内感染に対する懸念が共有されており、各施設は対応を策定していると考えられる。こうした院内感染症への対応については、平時の基本ルール、予防策・防止策から、発生時の初動対応などの記載がある。たしかに、これらの情報は、電子カルテ内のマニュアル(感染症マニュアル等)を見れば把握できるかもしれないが、ガウンや手袋を着用し、まさに感染症患者の病室において処置中であるなど、電子カルテにアクセスできない状況にあっても機動的にポケットマニュアルを参照することが可能であり、こうした観点からは、ポケットマニュアルを電子化することを検討する際に、電子化の利便性のみではなく、別の知見を提供するものである。

また、本研究全体からは、医療安全ポケットマニュアルの趣旨には、緊急時対応や便利機能、周知ツールといったものが含まれる可能性が明らかになったが、こうしたポケットマニュアルに感染関連情報を掲載する趣旨について、これまで十分に検討されてきたとはいえない可能性が指摘された。すなわち、緊急時対応を趣旨とするのであれば、手指衛生の方法の記載が趣旨にかなうかどうかは検討されるべきである。趣旨にかなう感染性関連情報としては、針刺し事故への対応などがあるが、こうした項目が必ずしもポケットマニュアル全体の趣旨との関係を吟味したうえで掲載されているわけではない。本研究全体でも議論となるところではあるが、ポケットマニュアルの医療機関におけるリファレンスとしての位置づけ、その趣旨・目的などを踏まえ、感染管理部門としてどのような項目を、どのような内容でポケットマニュアルに含むべきか、検討する必要がある。

なお、医療安全ポケットマニュアルには、感染症に関する事項が含まれている実態が明らかとなったが、ポケットマニュアルの改訂、運用は医療安全部門が主として担っており、こうしたマニュアルの運用に対する感染管理部門の関与の在り方について、今後検討する必要がある。

別表2 続き

大項目	中項目	小項目	該当数	
感染症別設定	感染症別設定：COVID		5	
			2	
	感染症別設定：HBV		2	
			3	
	感染症別設定：HCV		1	
			1	
	感染症別設定：HIV	HIV針刺し・暴露時の対応	1	
		HIVスクリーニング対応	1	
		医療事故後のHIV感染防止初期フローチャート	1	
		抗HIV薬予防服用説明書	1	
	感染症別設定：インフルエンザ	インフルエンザ患者の対応	5	
		入院患者のインフルエンザ発症時の対応	1	
	感染症別設定：結核の対応	結核の疑い患者への対応/フローチャート	2	
		結核患者発生時の対応/フローチャート	3	
		結核の届出義務	1	
		入院結核患者発症時の対応/フローチャート	2	
		入院における肺結核の評価	1	
		肺結核の外来診療時の注意	1	
		感染症別設定：その他	水痘・麻疹・風疹・流行性耳下腺炎	1
			水痘あるいは、接種性带状疱疹	1
麻疹・水痘・流行性角結膜炎			1	
流行性角結膜炎			1	
	ノロウイルス	2		
手指衛生	手指衛生について(タイミング等含む)	5		
	流水と石鹸による手洗いの方法	3		
届出関連	感染症の届出について	3		
	届出分類一覧	1		
	届出用紙出力方法	1		
保健所関連	保健所一覧	1		
	保健所への届出	1		
その他	Web版感染対策マニュアルの開き方	1		
	カルテ作成・採血・注射薬オーダー方法	1		
	歯科診療のレベル	1		
	一般感染症病室	1		
	病室の表示	1		
	感染症診療室の使用について	1		

E. 結論

感染関連の項目については、感染症発生・拡大防止の観点から、施設内に重大な影響を及ぼすと考えられる項目が網羅されていることは特筆すべきである。ポケットマニュアルへどのような事項について、どのような内容を記載することが必要なのか、施設全体のマニュアル整備状況、とりわけ感染症マニュアルの内容、アクセス手段はもちろん、ポケットマニュアルの趣旨・目的を踏まえ、検討する必要がある。

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

(発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他